



エッチOK学園！

(ほんと、すごい制服だなあ)

(みんな普通に着てるけど
毎日目の毒だよ……！)

ムチ

…

(ダメだ、もう我慢出来ない……!)

(はあはあ、
ムチムチの尻眺めながら扱くの
超気持ちいい……!)

ムチ

……

ムチ

(うっ、やばい……！
で、出る……！)

「や、やだ！
もー、何してるのよお！」

トロオ……

「あ、ごめん。
いっぱい出ちゃった。
あまりにもエロくてつい」

「おはよう鈴野さん。
今日も良いおっぱいしてるね」

「もうっつ、出会い頭にこんなことするなんて
ホント変態なんだから」



「ああ、柔らかいおっぱいが
チンコに擦れて超気持ちいい……！」

「やだっ……すごいビクビクしてる……！
授業前なんだから汚さないでよ……！」

ヌグッ
ヌグッ



「うっ…、駄目だ！
でっ、出る！」

ドン

「ふああっ…!! 熱っ…!!
も、ドロドロじゃない!
何するのよお…!!」



「もう我慢できない……！
マンコも使わせてくれ！」

「ちよっ……！
ダメだってばあ！
あんっ、凄い太いよおおおお！」

「はあっはあ、鈴野さんのマンコ
ねっとりからみついてきて
すげー気持ちいいよ」





「ほらっ、ここがいいんだろ？」

「あぁん！
は、激しいよおおおおお！
授業前に、こんなこと…あぁんっ…
ダメなんだからあぁあぁあぁあぁあぁ！」

「じゃあ、そろそろ
濡れたマンコにたっぷり出してやるか」



「い、嫌あああああああああ！
ダメええええええええええ！
熱いのがいっぱい
入ってくるよおおおおおおお！」

「ふうー出た出た。
さて、性欲発散出来たことだし、
授業に集中するか」

どろろ...

「うん、そうだね...
あは、は...♡」

はぁ♡

はぁ♡



「さて、休み時間は有意義に使わないと…
笹川さんのマンコ、今日も良い具合だね」

あ、

あ、っ♡

「あっああん！
もーっ、隣の席だからって
毎日こんなこと、ヒドイよお！」

ズッ
ズッ

「そんなこといって
毎日俺に使われて
本当は嬉しいんでしょ？
ほらアソコもビショビショだぜ？」

あ、

あ、っ♡

「だ、だつてえ…
んっ…ああんっ！ そこっ…
そんなに突いたらダメえ！」

ズッ
ズッ

「うっ俺もそろそろイきそう…
今日は中を出すぞ!」

「だ、駄目ええええええええ!
赤ちゃん出来ちゃうよおおおおお!」





「もうっ、仕方ないわね。
…んっんぐう」

「あー、体育疲れたー。
木田さん、チンポしゃぶって
元気にしてくれない？」

ぢゅん

「おっ、木田さんのアソコも
すごい濡れてきたぞ…
れろ、れろっ」

「んっ、んふうううっ♡」

「あー、舌が亀頭に絡みついて
すげー気持ちいい…
うっ、もうそろそろ出そうだ…」

ぢゅわっ





「掃除当番ご苦労さん」

ズ
ッ

「あっああん！
何するのいきなり…！！
これじゃあちゃんと掃除できないよぉー！」



「そんなこといって
アソコびしょびしょだぞ？
床汚したら余計な仕事が増えちゃうぞ」

「あんっあんっああん！
じゃあそんなに腰振らないでよお！
…あっ、ソコっ…駄目えええええ！」

「うあっ、すごい締め付け…！
うっ、もうイきそうだ…！」

ズッ
ズッ
ズッ

「おらっ、
精液たっぷり出してやる」

「やあああああああああ！
お腹の奥に、熱いのいっぱい
入ってくるよおおおおおおお♡」

ズ
ン
と
チ
ン
ン
ン

ジュン

「ふー、出た出た。
それじゃあ俺、帰るわ」

「うん…また明日ね♡」

（今日もイイ一日だったぜ。
さあ明日はどの子とエッチしようかな？）









































